

保護者の皆様

京都市立安井小学校
校長 谷垣 賢

夏休みを健康に安全に過ごしていただくために

毎日、肌を射すような日差しが照りつけ、まさにうだるような暑さの日々が続いておりますが、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお察し申し上げます。

さて、夏季休業期間中ではございますが、子どもたちが健康で安全に毎日を過ごせますように、以下の点について、再度子どもたちにご指導くださり、家庭でもご留意くださいますようお願いいたします。また、健康・安全上で不安なことや心配なことなどがございましたら、お気軽に学校までご相談ください。

1. 新型コロナウイルス感染予防について

またしても大都市を中心に、変異株の影響を受けて新型コロナウイルス新規感染者数が増えてきています。夏休みはお出かけをしたり、人との交流が増えたりする時期です。特に以下の感染予防対策を、ご家庭でも徹底して行ってください。

なお、児童のPCR検査・濃厚接触者指定、新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、土・日・祝・8月10日～17日を除く8時半～17時に、学校（075-841-3130）までご連絡ください。

- ・身体的距離の確保 ・手洗い ・3つの密（密閉、密集、密接）の回避
- ・正しいマスクの着用（熱中症にも注意が必要） ・会話時のマスク ※京都市HPより

2. 熱中症について

連日大変暑い日が続いています。子どもたちは暑さや日差しも関係なく、夢中で遊んでしまいます。環境庁の「熱中症予防サイト」によると、熱中症は気温が高い、湿度が高い、風が弱いなどの「環境」と、激しい運動によって体内に著しい熱が生じる、暑い環境に体が十分に対応できないなどの「からだ」、激しい筋肉運動や慣れない運動、長時間の屋外作業などの「行動」の3要素によっておこると言われています。熱中症の予防対策として紹介されている例としては次のようなものがあります。

- ・涼しい服装 ・日陰を利用 ・日傘、帽子 ・水分、塩分補給 ※環境庁「熱中症予防サイト」より

3. 水難事故防止について

この時季には、子どもたちの水難事故にお気をつけください。特に、昨年は新型コロナウイルスの影響で海水浴場やプール等が開設を取りやめるケースが多くみられ、身近で利用できる河川での水難事故件数が例年よりも増加したそうです。子どもたちを水難事故から守るためには、子どもも大人も十分な備えと知識が必要になります。水難事故防止に関しては様々なサイトで紹介されていますので、その中からいくつかを紹介します。

- 川海** ・どんなに慣れたところでも、子どもだけで決して水辺に近づかないよう繰り返し言い聞かせる。
- ・浅く、それほど危険ではないと思われる場所でも、親の手が届く範囲で目を離さない。
- ・子どもたちにはライフジャケット等を着用させる。
- 河川** ・事前に気象情報や川の状況を必ずチェックする。気象状況に注意を払い、天候の変化に注意する。
- ・川に入るときは、活動にあった服装を。サンダル履きや着衣のままでの水遊びに注意する。
- 海** ・遊泳禁止区域では絶対に泳がない。釣りの場合も立ち入り禁止区域には入らない。
- ・波が高いときや、離岸流が強いときは、海に近づかない。浮き輪があっても、陸から離れない。